

GRRM14 配布システム

GRRM14 では、多くのユーザにご活用いただいている GRRM11 の機能に加え、さらに画期的な機能が追加され、量子化学計算に基づく化学反応および化学構造の探索プログラムとして、他の手法ではまったく手を出せないことにチャレンジしていただく楽しみが飛躍的にひろがります。

GRRM プログラムの基本的な配布手続きは、開発者代表(ohnok@m.tohoku.ac.jp) に電子メールでお問い合わせしていただくことからはじまります。(対応可能な計算機につきましては、このページの末尾をご参照ください。)

GRRM プログラムのご利用が許可されてからの手続きは、GRRM11 までは個々にバイナリコードをご利用いただくこととして参りましたが、GRRM14 では、以下に示します GRRM 安全管理ソフトを各ユーザにご準備いただいて、ユーザのマシンにインストールしていただくこととなります。

GRRM 安全管理ソフトは、ご利用が許可されていることを随時確認してプログラムをお使いいただくためのもので、ユーザがご使用予定の計算機にインストールしていただいて、GRRM プログラムをご利用いただくものです。

GRRM 安全管理ソフトは、下記の頒布先から、お求めください。GRRM 安全管理ソフトには、開発作成にコストがかかっておりますので、そのコストを各ユーザにご負担いただくことをお願いいたします。

GRRM 安全管理ソフトの頒布価格は、一般ユーザの場合を基本とし、アカデミックの場合には割引料金が適用されます。ご利用期限は、一般ユーザは1年、アカデミックの場合は3年となっております。更新は期限内に行う必要があります。ノード数によって価格が変わります。ノード数が100を超える場合は、頒布会社とご相談ください。詳しくは頒布先ホームページをご覧ください。

<GRRM 安全管理ソフト頒布先 URL>

オンラインで設置できる GRRM-STlib

<http://www.science-technology.jp/>

<対応可能計算機>

ユーザ管理下の Linux マシン。ご利用可能な OS については、上記 GRRM コントローラ頒布先のホームページをご覧ください。